

全校朝会の校長講話

10月4日

文化発表会がまもなく開催されますが、今日は文化のことに話をします。

この夏に行われた東京オリンピック・パラリンピックでは、多様性と協調ということをテーマにして、それをスポーツを通して伝える取り組みが実施されました。肌の色も人種も宗教、言葉さまざまな違いのある人がスポーツを通して一つになれる。お互いを尊重し合えるようになれる。対立ではなく助け合う。パラリンピックでは障害は特性であり、人が生きていくことでの障害にはならない。むしろそれを乗り越える力が勇気を与えるということを立証してくれました。

昨年度の文化発表会では、1年生はスポーツと平和をテーマにしてダンスで表現することに挑戦しました。2年生は「男は女はこうあるべきという考えにとられない。多様性を尊重する生き方を劇で表現することができました。3年生は「形はなくても心の中に生き続けるもの」というテーマで三重津海軍所創設に携わった佐賀藩の若き武士たちの姿を演じてくれました。それぞれの学年の展示にもテーマが盛り込まれていました。

まさに文化の創造という活動だったと思います。今年の文化発表会でも設定したテーマをどう表現してくれるのかを楽しみにしています。合唱もその曲に込められた願いや思いをどう表現するか、学級みんなの力のみせどころだと思います。

文化の創造の前提は「多様な価値観を認め合うこと」。みなさんの若きエネルギーに期待しています。